

黒毛和牛の出産ラッシュ

平成28年2月16日、3月2日、3月15日のいずれも早朝に、黒毛和種繁殖雌牛が分娩をしました。このうちの2頭は、昨年11月に栃木県畜産酪農研究センター芳賀分場から導入した繁殖雌牛です。

牛は、最初に飲む母乳(初乳といいます。)から免疫をもらいます。産まれた子牛は、それぞれ36kgの雄、30kgの雌、35kgの雌でした。性別や体重に違いがあるものの、初乳をしっかり飲んで、現在3頭ともに順調に育ってます。3頭は、雌は当校の繁殖雌牛として、雄は肥育牛として、飼養管理していきます。

現在、寒暖の差が激しいことから、カーフジャケット(牛の防寒着)を着せたり、ミルクの温度に気を配ったりと、学生は哺乳や飼養管理に奮闘しています。



カーフジャケットを着用した子牛



ミルクを飲む子牛